

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-204	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 347	新財務会計 I 新訂版		

1. 編修の基本方針

- 基礎項目から応用項目へと段階を追って学習できるよう構成することで、幅広い知識や技術を確実に習得できるよう配慮する。
- 本文は例題を中心とした展開とし、段階的に練習問題を配置することで、無理なく技術の定着をはかれ、自ら学ぶ主体的な学習や系統的な反復学習もできるよう配慮する。
- 全編カラーページとし、学習要素や例題の解説などではイラストや図解を用い、学習者が具体的にイメージしやすいよう配慮する。
- 実務やその歴史に関わる教材を積極的に取り入れ、職業及び生活との関連に配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
特集ページ (前後見返し含む)	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、企業のグループ化と連結財務諸表の開示について、実際の企業や団体のイメージ写真を交えて扱った(第2号)。	①～②頁 (特集1)
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点、また創造性を培い、自主及び自律の精神を養うという観点から、複数の箇所や章にまたがって展開されている学習要素を本文とは別の視点からまとめた教材や、公式・計算式の一覧、勘定科目・表示項目の一覧などを扱った(第1号, 第2号)。	③～⑧頁 (特集2～4) ⑫～⑭頁 (特集8～9)
	我が国の伝統と文化を尊重するという観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、自国も含めた世界的な簿記・会計の歴史を扱った(第5号)。	⑨～⑪頁 (特集5～6)
	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うという観点から、インターネットを用いた財務諸表の閲覧について扱った(第3号)。	192～193頁 (特集7)

まえがき	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うという観点、また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うという観点から、本書の学習を通じて、学習者が社会で活躍することについての期待を述べている（第2号、第3号）。	2頁12～17行目
第1編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、猫が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	7頁
	財務会計の基礎についての幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。	8～22頁
	我が国の伝統と文化を尊重するという観点、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、自国も含めた世界的な会計の歴史を扱った（第5号）。	12頁～ 14頁18行目
	幅広い知識と教養を身に付けるという観点、また、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた（第1号、第2号）。 さらに、伝統と文化を尊重するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から、この「会計コラム」において簿記の成り立ちおよび財務会計の役割や、国際会計基準について扱った（第5号）。	22頁
第2編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、猫が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	23頁

第2編	貸借対照表とそれを構成する項目に関する幅広い知識と教養を取り上げた(第1号)。	24～142頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「会計博士からの特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるように配慮した(第1号)。	32頁, 35頁, 38頁, 46頁, 69頁, 71頁, 91頁, 106頁, 110頁 127～128頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点、また、創造性を培い、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた(第1号, 第2号)。 さらに、伝統と文化を尊重するという観点から、この「会計コラム」において歴史的な日本の会計の変化について扱った(第5号)。	142頁
第3編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、猫が成長していく様子も描いた(第2号, 第3号, 第4号)。	143頁
	損益計算書とそれを構成する項目に関する幅広い知識と教養を取り上げた(第1号)。	144～188頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「会計博士からの特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるように配慮した(第1号)。	172頁, 183頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点、また、創造性を培い、職業及び生活との関連を重視するという観点から、会計学の分野全般に関する内容や、より実務に即した内容などを広く扱う囲み記事「会計コラム」を設けた(第1号, 第2号)。	188頁

第4編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、猫が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	189頁
	財務諸表の活用についての幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。	190～208頁
	自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うという観点から、地域社会が「自然環境の保全」について企業に関心を持っている旨を、図中で示した（第4号）。	190頁
	職業及び生活との関連を重視するという観点から、総合問題中の財務諸表について、実際にEDINETなどで入手する財務諸表に近い形式で示した（第2号）。	208頁
第5編	創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点、また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するという観点から、編とびらのテーマを若い男女が起業し、周囲と関わりながら会社を大きくし、自身も成長していくというストーリーに設定した。生命を尊び、自然を大切にするという観点から、猫が成長していく様子も描いた（第2号、第3号、第4号）。	209頁
	連結財務諸表のあらましとその作成に関する幅広い知識と教養を取り上げた（第1号）。	210～245頁
	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うという観点から、囲み記事「会計博士からの特別講義」を設け、本文の内容を別の角度から解説することなどにより、さらに幅広く発展的な内容にも対応することができるように配慮した（第1号）。	241頁
総合演習	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うという観点から、これまでの学習を総合して確認できる演習問題を設けた（第2号）。	246～250頁
折り込み	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うという観点から、会社計算規則による財務諸表の例や架空の株式会社の決算に関する手続きと記帳の流れについて扱った（第2号）。	折り込み1～8

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 豊かな人間性，創造性を養うという観点から，全編カラーページとし，視覚的な学習効果をはかった。また，カラーユニバーサルデザインを採用し，すべての学習者が使いやすいように配慮している。
- 外国の文化の理解を通じて，他国を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うという観点から，国際的にも使われる重要用語については，英字表記を併記した。
- 生活に必要な国語を正しく理解し，使用する基礎的な能力を養うという観点から，読みにくいと思われる用語や科目特有の専門用語についてはふりがなを併記した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-204	高等学校	商業	財務会計 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	商業 347	新財務会計 I 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- (1) 本書は、「財務会計 I」を履修する学習者のために、財務諸表の基礎を理解させ、その基本的な技能を習得させることを目的として編修した。この目的を効率よく達成できるようにするため、次のように体系的に構成してある。
- (a) 全体を「第 1 編 財務会計の基礎」, 「第 2 編 貸借対照表」, 「第 3 編 損益計算書」, 「第 4 編 財務諸表の活用」, 「第 5 編 連結財務諸表」の計 5 編に分け、編ごとにステップをふみながら、まとまりのある学習ができるようにした。
- (b) 学習指導要領の内容「(4)連結財務諸表」および「(5)財務諸表活用の基礎」については、教材の内容と全体の流れを考慮し、「第 4 編 財務諸表の活用」, 「第 5 編 連結財務諸表」というように順序を入れ替えて取り扱うことで、第 4 編までで個別財務諸表、第 5 編以降で連結財務諸表について学べるよう配慮した。
- (2) 本書では、本文中には「例題」, 各章末には「基本問題」と「演習問題」の二段階の練習問題、必要に応じて編末に「総合問題」, さらに巻末には、二つの「総合演習」を設けた。これによって、個々の学習事項の確実な理解から、手続きの全体的な流れや各種財務諸表間の関係等の理解、そして、正確で迅速な技能の習得までを段階的に学習することができ、系統的な反復学習にもより対応できるよう配慮した。
- (3) 本書では、本文の内容を別の角度から解説するなど、さらに幅広く発展的な内容に対応する囲み記事「会計博士からの特別講義」を設け、学習者が本文の理解をより深められるよう配慮した。
- (4) 本書では、学習内容の実生活・実社会への関連付けや、なぜ学ぶのかという目的意識を明確にさせることを目的として、授業の話題作りにできるような囲み記事「会計コラム」を設け、他科目への橋渡しとしても使えるよう配慮した。
- (5) 本書は以上のほかに、次のような配慮をして、学習の視覚的効果をはかった。
- (a) 大きな判型により、各財務諸表および帳簿類や図解を見やすくした。また、必要に応じて見開きで大きく図解を示し、流れなどがよりわかりやすくなるよう工夫した。
- (b) 全編カラーユニバーサルデザインを採用したカラーページとし、色分けなどにより、学習要素やその関連性がより分かりやすくなるように工夫した。

- (c) 本文の内容を助けるイラストや、キャラクターによる吹き出し解説を取り入れ、学習者が親しみをもてるようにした。
- (d) 本文の奇数ページにインデックスを設け、また、章タイトルでも該当の編の章立てや該当の章の節立てなどを確認できるようにし、学習者が今「どの段階」で「何を学んでいるか」をはっきり認識できるようにした。
- (e) 基礎的な内容である第1～3編、応用的内容である第4～5編について、それぞれ章タイトルなどのメインカラーを決め、見た目にも分かりやすくした。
- (f) 特集ページ（前後見返し含む）・折り込みでは、各編の代表的な教材、まとめとなる教材、興味を喚起する教材などをとりあげ、効果的な学習の一助となるよう工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	配当 時数	該当箇所	学習指導要領の内容
第1編 財務会計の基礎		7～22頁	(1) 財務会計の基礎
第1章 企業と会計	3		ア 企業会計の意義と役割
第2章 企業会計制度と会計法規	3		イ 財務会計の機能 ウ 会計法規と会計基準
第2編 貸借対照表		23～142頁	(2) 貸借対照表
第3章 貸借対照表のあらまし	1		ア 資産
第4章 資産の意味・分類・評価	2		イ 負債
第5章 流動資産（PART 1）当座資産	6		ウ 純資産
第6章 流動資産（PART 2） 棚卸資産・その他の流動資産	6		エ 貸借対照表の作成
第7章 固定資産（PART 1）有形固定資産	5		
第8章 固定資産（PART 2）無形固定資産	5		
第9章 固定資産（PART 3）投資その他の資産	4		
第10章 負債の意味と分類	1		
第11章 流動負債	3		
第12章 固定負債	4		
第13章 純資産の意味と分類	1		
第14章 資本金	2		
第15章 資本剰余金	4		
第16章 利益剰余金	3		
第17章 自己株式	2		
第18章 貸借対照表の作成	4		
総合問題（第2編）	1		

第3編 損益計算書		143～188頁	(3) 損益計算書
第19章 損益計算書のあらまし	1		ア 損益計算の意味と損益の区分
第20章 損益計算の意味と基準	4		イ 収益・費用の認識と測定
第21章 売上高	4		ウ 損益計算書の作成
第22章 売上原価，販売費及び一般管理費	2		
第23章 営業外収益・営業外費用	3		
第24章 特別利益・特別損失	2		
第25章 損益計算書の作成	4		
第26章 その他の財務諸表	2		
総合問題（第3編）	1		
第5編 連結財務諸表		209～245頁	(4) 連結財務諸表
第29章 連結財務諸表のあらまし	2		ア 連結財務諸表の目的と連結の範囲
第30章 連結財務諸表の作成（PART 1）	5		イ 連結財務諸表作成の基礎
第31章 連結財務諸表の作成（PART 2）	5		
総合問題（第5編）	1		
第4編 財務諸表の活用		189～208頁	(5) 財務諸表活用の基礎
第27章 財務諸表のディスクロージャー	1		ア 財務諸表分析の意義
第28章 財務諸表分析	3		イ 財務諸表の見方
総合問題（第4編）	1		
総合演習 I	2	246～250頁	上記(1)～(5)
総合演習 II	2		
	計		
	105		